

(要領様式第5号)

研修カリキュラム

年度	令和6年度 神奈川県保育エキスパート等研修
分野	幼児教育
実施機関	一般社団法人保育のデザインアドバンス

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	幼児教育の意義	白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆	要領・指針には、世界の研究や知見をふまえ、目の前の子どもたちの「姿」をどのように捉え育んでいくべきか、重要なメッセージが込められているということを解説している。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	1時間29分	15時間34分	令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
2	幼児の発達に応じた保育内容1	株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子	平成29年改訂(改定)の指針や要領に示されている重要なキーワード「主体的・対話的で深い学び」や「環境を通して行う保育」について、事例を用いて解説している。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	0時間59分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
3	幼児の発達に応じた保育内容2	株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子	子どもは環境を通して資質・能力を育んでおり、保育者は5領域を通して、子どもの学びを読み取る必要があることについて、事例を通して5領域、さらに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を日常的な子ども姿を基に解説している。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	1時間08分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
4	幼児の発達に応じた保育内容3	こども教育宝仙大学 准教授 利根川 彰博	子どもの豊かな想像力や思いを、私たち保育者は受け止め、保育を行っているか、先入観で保育を行っているか、改めて保育者のあり方を考えさせられる内容。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間48分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
5	幼児教育の環境	お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション 宮里 暁美	主体的な活動の中で、子どもが発見し、工夫したり、挑戦したり、試行錯誤するその姿は目を見張るものがある。指針や要領のキーワードと事例を重ねて、環境がいかに、子どもの遊びを豊かにするために重要かということを解説している。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間29分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
6	幼児教育の指導計画、記録及び評価1	神戸大学大学院 教授 北野 幸子	計画や記録は、単に形式的なものではなく、組織として方向性を共有し、子どもの「今」を捉えた記録を基に、より良い保育に向かうPDCAサイクルの中で書いていける。この単元は、これまで得てきた幼児教育の知識と保育の実践を結び付け、計画に活かすための手掛かりを示している。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	2時間39分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
7	小学校との接続	明治学院大学 教授 松寿 洋子	小学校のスタートカリキュラム等について学び、自園でできること、保護者との連携等について解説している。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	1時間55分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
8	幼児教育の指導計画、記録及び評価2	株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子	子どもの姿から何を捉え、どのように記録するのか。また記録を基にどのような保育を展開していくと、子どもが主体的に育っていくのか。事例を基に、実践的に学ぶ。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	1時間15分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人
9	幼保小架け橋プログラム	白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆	架け橋プログラムの背景となる現状や課題について知り、めざしていることやプログラムの概要を理解することやプログラムの概要を理解することから取り組むべき内容と取り組むときの考え方を学ぶ。	講義+演習(eラーニング)+ミニテスト+報告書	0時間48分		令和6年 4月8日(月) ～ 令和7年 2月28(金)	パソコン スマートフォン タブレット	1000人

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～9すべての研修を受講する必要があります。